

## 「環境先進都市の創造に向けた議員懇談会」議事録

参加政党 民主党、社民ネット

参加議員 吉村氏、河辺氏

場所 市民フォーラム視聴覚室

日時 10月9日（金） 19時から20時30分

議 生ごみについては少し先が見えてきたが、プラスチックの問題が解決の見通しがたてば、明るい未来も開けるのかと思う。

議 市民の一人としてチクチクとした思いを持った。一市民として自分は何が出来るのか「ごみ」と言うと行政がやるものという認識があるが、草の根でやっていくことの方が、説得力がある。ところで、ゼロ・ウェイストの会の成り立ちをお聞きしたい。

\* 10年前、廃プラ圧縮施設の反対運動がおき、環境対策協議会が生まれた。その時期、市長選があり、すべての候補者にごみに対する考え方を聞いた結果、私たちは石坂市長を選び、ゼロ・ウェイスト宣言の会を設立、レジ袋廃止、生ごみ、エコステーション等に取り組み、町田市のごみゼロ市民会議に40数名が参加した。昨年9月、NPO法人町田発・ゼロ・ウェイストの会と改称し、今日に至っている。

\* 民主党さんは、党首がマニフェストで25%削減を打ち出されたが、一党员としてどう思うか。

議 やはり、それをどう実現して行くかが問題だと思っている。実は今日国会で、町田選出の榊淵万理が環境常任委員になったことをご報告する。

\* 25%のゼロ・ウェイストをすれば可能だと思う。やはりある程度国民に負担を負わせないと出来ないこと、市議会として社会に呼びかける時が来るのではないか。

議 企業が重い腰を上げられるような、犠牲を強いるのではなく、可能になるような仕組みを作るような法律を国に要求することも大切だと思う。

\* ライフスタイルを変えることばかりでは苦痛かもしれないが、それによって得られる人と動物、自然環境、芸術などの関係を楽しむ事など幅広い視点で捉えることも必要ではないかと思う。

議 ごみの減量に熱心な人、そうでない人のための分別の選択肢も必要だと思う。

\* 市民としては、首長が誰であっても変わらないごみ政策であってほしい。

議 市が打ち出している環境先進都市を目指すことに対して、異論はないのではないか。

議 市民協働というけれど、NPOとして活動していて、行政との関係はどうなっているのか聞きたい。

\* 残念ながら現段階では不満であるが、一步一步近づいていると思う。

\* 真光寺のリサイクル広場は町内会が主体で運営し、市は備品、インセンティブのトイレットペーパーを提供しているだけであるが、市民は生きがいを感じている面もある。

市は経費が殆ど掛からないので、モデルケースとして拡大していくようだ。

- \* 市側からみると、NPOは未だ下請け的な認識しかないのではないかと。
  - \* エコイベントは公社との契約で実施しているが、市側も協力的であるが、互いに未熟な面があると思う。
  - \* 市民協働と言うからには市民と情報を共有していかないと出来ない。そのための制度的な応援や予算を付けて活動拠点等の支援をして頂きたいと思っている。
  - \* 市の職員が市民の手助け、声を必要としない、求めない体質があるところも市民協働の妨げになっているのではないかと思う。
- 議 CO2削減に対して、削減の成果が目に見える形で出来ないものかと思う。漠然としていて説明が難しい点もある。
- \* CO2削減は、先進国と発展途上国の相違を明確にする上で大切な尺度となると思う。町田の焼却炉3基は、作られて30年が経ち老朽化が激しいが、新炉を建設するには、一基80億、一人2万円の負担になるが、もしごみの減量でその一基分を減らすと80億の税金が浮くことになり、福祉、医療に回す事ができる。
  - \* 今日参加して頂けなかった議員さんの考えを聞きたい。
- 議 参加していない議員も環境先進都市に反対する理由は無いと思う。
- 議 情報誌で大学生が農作業をしている記事を見、大変頼もしく思った。町田は多くの里山、源流を持っているので、大切な土、空気、水の保護のためにも是非協力したい。